

概要

- ニーズの変化や多様性に対応させるため、拠点として必要な最低限の機能を整備する。
- 民間事業者などが、低投資でノウハウを活かした新たなチャレンジの場として利用する。
- 低投資でテストマーケティングしながら、最終的に当地区及び漁港の特性にあった最適な活用方法を残し、飽きのない賑わいを創出する。



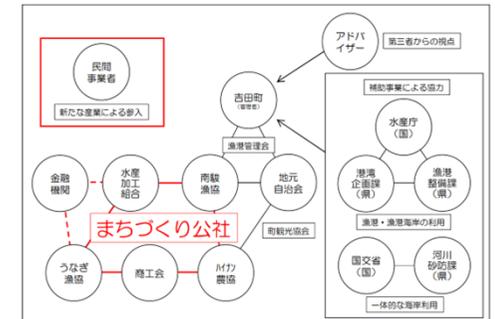
海業の取組概要

- 渚泊・体験・観光関係 (①、②、③、④)
  - ・漁港内及び漁港背後集落並びに沿岸部の自然環境等を活用した体験プログラムの実施
  - ・既存イベントの拡充とともに、新規イベントの開催
  - ・漁港内及び漁港背後集落並びに沿岸部における「みなと祭り」などの開催
- 釣り・マリンレジャー (②、④)
  - ・既存漁港施設を釣り利用に開放
  - ・プレジャーボートのマリーナ化による拡充
- 飲食・販売・加工関係 (①、③)
  - ・当漁港で水揚げされた水産物、内水養殖漁業の水産物、地元の農産物の直接販売、直売所・飲食店舗の開設

効果

- ・知名度向上、ブランド化による付加価値の強化
- ・関係人口、交流人口の増加
- ・漁業者、水産加工業者などの所得向上
- ・移住・定住による人口増加→担い手の確保
- ・漁港及び漁港背後集落並びに沿岸部の有効活用、漁港の再編、再編による維持管理費の縮減

協力体制



スケジュール

- 令和9年度 基礎調査・活用検討
- 令和10年度 整備方針及び基本計画の策定
- 令和11年度 設計及び工事発注